特集!! ▫経験豊富な家庭教師達からのワンポイント▫

子供のやる気の引き出し方

「うちの子は勉強をやる気がないのです。」

「勉強をやる気にさせるのにはどうしたらいいのですか?」

小・中学生を持つ親御さんなら誰しも抱えている問題だと思います。この年頃になると批判精神も芽生え、曇りのない眼で社会や人間をみることができます。我々家庭教師に対しても「本気で教える気があるのかな」と、子供たちはすぐに見抜いてきます。最も身近なご両親も当然対象となります。ただ「勉強しなさい!」「そんなに遊んでいていいの?」と口うるさく言うのでは子供たちには伝わりません。

ご両親自ら目的意識を持った「学習行為」を自然な形で子供に見せてあげて下さい。外国語の会話に取り組む、学生時代にかじった百人一首をもう一度勉強しなおしてみる、環境問題について調べてみる、絵画・陶芸に本格的に取り組む、子供と一緒に読書する時間を作ってお互いに感想を言い合う等々、真剣に打ち込み、自らの世界を持ち学んでいる姿が無言の激励になるのです。

お忙しい毎日ではあると思いますが、成績を伸ばしてあげたい、受験という壁を乗り越えて欲しい、本心で思うなら生活態度を改めるくらいの覚悟が必要でしょう。受験は一家の総力戦なのです。

（文責　栗田一哉）

「声」で覚える勉強法

効果的な勉強方法、それは「覚える」ということが基本になります。それではどうすれば簡単に覚えられるのでしょうか。覚えなければならない所を何度も紙に書いたりするのが一般的なやり方です。しかし、一夜漬けではなかなか本当の実力はつかないようです。そこでおすすめの勉強法は「繰り返し音読」です。誰でも経験があると思いますが、同じコマーシャルや歌を何度も繰り返し聞いていると、知らないうちに覚えてしまうことがよくありますね。この性質を利用します。一日、10回と決めて毎日何度も何度も同じ所を「声を出して読んでいきます」声に出すということはとても大切で、その利点はまず集中できること。そして自分の声を「聞く」ことで、さらに理解が深まると言われています。10回～20回と読みこめば、かなり自分のものとなってきます。こうして覚えたことは、一夜漬けで覚えたものとちがって自分の血となり肉となるのです。それに一生懸命覚え込もうとする必要はなく、ただ読むだけなので気楽にできます。目標数を決めて、一回読むごとに「正」の印などを付けていくとやる気が持続できます。スポーツでも何でも優秀な人はしっかり量をこなしています。

（文責　井関博之）

得点をUPする!　数学編

数学は積み重ねがないと理解できるようにはならない地道な努力が要求される教科ですが、考えかた次第で不思議なほど成績が向上する教科です。数学の学習項目を分類するなら次のようになります。

①基礎部門
数学の理解に不可欠な方程式などの計算知識

②関数部門
グラフはデータです。このデータ解析の基礎を学ぶのが中学、高校数学の柱になります。

③証明
数学的な思考方法の基礎です。数学学習はこの思考方法がないと本当の実力はつきません。

④図形
三角形を中心に図形を学習することにより、様々な図形の解析方法を学習します。特に三角形は理数系の進路希望者には命です。

⑤その他
確率など数学的な思考方法から生み出された分析方法を学習します。

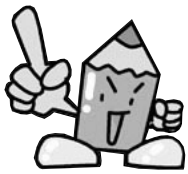
では数学的な考え方を習得するヒントをみなさんと考えていきましょう。

◆◆◆◆◆

数学が嫌いな人が多いのは何故?

小学生の頃の算数の成績はまずまずであっても、中学校になったら数学の成績は下降線をたどる人は多く、中学3年の頃には数学が得意な人は1クラスでだいたい3割以下にまで減少してしまいます。高校卒業後に理数系大学に進学する人は1割程度になってしまいます。数学というのはそんなに難しい教科なのでしょうか?

どの教科もそうですが、数学指導者に恵まれなかったというのも数学が不得意になる原因の1つですが、だからといってこの理由だけではここまでひどくはなりませんよね。数学が不得意になる原因を考えてみましょう。



●落とし穴

「あなたは小学校のときに野球をしていました。中学生になり同じ野球の練習方法で通用するとおもいますか?」

この質問の解答はどう考えても、通用するはずありません。では次の質問です。

「あなたは小学校の算数の勉強方法が中学以降の数学の勉強方法で通用するとおもいますか?」

この質問の解答も前の質問と同じで通用するはずありません。

新しい制服と緊張感に身を包みの中学校に入学し始めて出会った数学の学習はいかに難しいのかと思いきや初めて学習する項目は正負の数。この簡単な内容で多くの人が「なんだ、数学って簡単じゃん」と感じます。これこそが数学学習の最大の落とし穴になるのです。

数学の学習というのはただ計算が出来ればいいというものではありません。例えば正負の数の項目であるならば、移項すれば符号が変わる理由や-(-A)は+Aになる負の数の減法の理由をちゃんと理解していますか?算数のテストみたく機械的に計算問題ができればいいというわけではありません。

他にも「各学習項目の関連性を実感しているか」「数学が我々の生活に密着しているのか理解しているか」「論理的な思考を身につけているか」数学で必要なのはこうした数学の概念をきちんと理解することです。

私が指導する生徒は数学が得意教科になる人が多いのは私に驚異の指導法があるわけでもなく、ただ単にこうした数学の概念を理解させているだけなのです。

（文責　大槻世一）

家庭教師派遣の関係法令について（特定商取引法）

家庭教師の契約トラブル多発してきた経緯から法令が整備されて来ました。ここでは、その法令からいくつか、一般に知られていない内容を取り上げたいと思います。こうした法令を守らない業者も存在します。業者を選ぶ上での参考にして下さい。

●クーリングオフについて

受講申込日を含む8日間は無条件に家庭教師派遣契約の申込の撤回及び解除ができます。クーリングオフを行使される際に、当社が威圧などの不適切な行為をしたために、困惑しクーリングオフを躊躇した場合は、関係法令に定められた書面を改めて発行の上、その書面が届いた日を含み、8日間はクーリングオフができます。

●受講開始前の契約解除

クーリングオフ期間経過後も、契約の締結及び履行のための費用として2万円を越えて請求致出来ません。

●受講開始後の契約解除

家庭教師派遣後の契約解除によって生じる損害の額は、政令で定める金額（5万円または1月当たりの授業料の相当額のいずれか低い額）を越えて、請求することは出来ません。